

事務事業名		三陸鉄道利用促進事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造			事業期間		予算科目				
	施策名	交流基盤の充実					会計	款	項	目	事業
	基本事業名	公共交通機関の利便性維持と利用促進			☐ 単年度のみ		01	02	01	06	34
所 属	根拠法令				☒ 単年度繰返 (開始 昭和59 年度 ~)						
	部課名	商工観光部商工観光物産課			☐ 期間限定複数年度 【計画期間】						
	係 名	商工係	電話 内線	27-3111 113	年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							全体計画(期間限定複数年度のみ)				
三陸鉄道が企画するイベント企画列車での市歓迎イベントを実施し、利用促進を図る。 盛駅に電動自転車を5台配備し、下車後に買い物に利用してもらうなど利便を図る。 主な業務は、夏の歓迎イベントの企画、実施、三鉄利用促進デーの利用促進、電動自転車の定期点検、修理依頼、支払、つばき娘の派遣。 事業費は、イベント提供品費用、自転車の点検・修理費用、半天のクリーニング代などに支出される。							総 投 入 量 (千 円)	事 業 費	財 源 内 訳	国庫支出金	
										都道府県支出金	
										地方債	
										その他	
										一般財源	
										事業費計 (A)	0
人 件 費	正規職員従事人数										
	延べ業務時間										
	人件費計 (B)	0									
	トータルコスト(A) + (B)	0									

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		
手段(主な活動)		名称	単位	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		ア	三鉄利用促進デーイベントの開催回数	回
・三陸鉄道が企画する八戸・仙台間の直通列車リارس・シーライナーが盛駅に停車した際、乗客に対し、大船渡市の特産品をプレゼントするとともに、市の観光PRを行う。 ・三陸鉄道が実施する企画列車等のキャンペーン活動に大船渡つばき娘を派遣し、大船渡市の観光PRを行う。 ・電動自転車の保険契約更新手続き ・三鉄利用促進デーに広報活動等を実施。(リارس・シーライナー運行、経里みずきだんごまつり会場)		イ	つばき娘の派遣回数	回
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		ウ		
・三陸鉄道が企画する八戸・仙台間の直通列車リارس・シーライナーが盛駅に停車した際、乗客に対し、大船渡市の特産品をプレゼントするとともに、市の観光PRを行う。 ・三陸鉄道が実施する企画列車等のキャンペーン活動に大船渡つばき娘を派遣し、大船渡市の観光PRを行う。 ・電動自転車の保険契約更新手続き ・毎月1回の三鉄利用促進デーに広報活動等を実施。		対象指標(対象の大きさを表す指標)		
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		名称	単位	
・三陸鉄道利用者 ・三陸鉄道株式会社		カ	三陸鉄道乗車人数	万人
		キ	三陸鉄道株式会社	社
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		ク		
・三陸鉄道の魅力が高まり、乗客が増加する。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		名称	単位	
公共交通機関を快適に利用できる。		サ	春・夏・秋・冬の企画列車で特典をつけた市内施設の利用者数	人
		シ	三鉄区間におけるリارس・シーライナーの乗客人数	人
		ス	三鉄利用促進デーに実施したイベントの参加人数	人

(2) 総事業費・指標等の推移				年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)
			単位							
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円						
			一般財源	千 円	309	285	252	114	69	206
			事業費計 (A)	千 円	309	285	252	114	69	206
	人件費	正規職員従事人数	人	1	3	3	3	3	3	
		延べ業務時間	時 間	10	30	30	30	30	30	
		人件費計 (B)	千 円	40	120	120	120	120	120	
		トータルコスト(A) + (B)		千 円	349	405	372	234	189	326
活動指標			ア	回	4	9	4	4	6	0
			イ	回	2	4	4	1	1	1
			ウ							
対象指標			カ	万人	105	104	103	97	89	86
			キ	社	1	1	1	1	1	1
			ク							
成果指標			サ	人	0	10	15	20	25	30
			シ	人	1,701	2,569	1,536	2,000	2,000	2,000
			ス	人	219	1,800	810	1,000	1,000	1,000

事務事業ID	0382	事務事業名	三陸鉄道利用促進事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

開始年度は不明であるが、昭和59年の開業時に発足した岩手県三陸鉄道強化促進協議会の活動とは別に、三鉄利用促進のための特色ある活動をしていこうということから開始された。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

昭和59年の開業時269万人あった利用客が、20年後の平成15年度には39.6%にまで減少。開業後10年間は、黒字を維持してきたが、自家用車の家庭普及や少子化による影響等の理由により、平成6年度以降赤字経営が続いており、赤字補填を行ってきた三陸鉄道運営助成基金が平成19年度に枯渇する見込みとなっている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

- ・三陸鉄道を利用している市民からは、三陸鉄道がなくなってしまうのは困るので、積極的に事業展開をしてほしいとの声がある。
- ・市民からは、市役所職員から率先して三陸鉄道を利用するべきという声もある。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由]  この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	利用客の減少が続く中、魅力あるイベント列車を企画して実施していくことは、三陸鉄道の利用が促進されるため。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由]  なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	三陸鉄道は、地域住民の重要な公共交通機関であり、この鉄道を存続していくためには、利用客を増加させるための利用促進策を沿線市町村が率先して取り組まなければならないため。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由]  対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	三陸鉄道の利用促進を図るための事業に取り組むことで、三陸鉄道の魅力が高まり、乗客が増加することにつながるため、対象・意図とも限定・追加・拡充する必要はない。
有効性 評価	成果の向上余地	☒ 向上余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由]  成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	イベント実施の際の準備期間が少ないことから、告知のための広報活動が遅れてしまう状況にある。事前準備を早めに進めることが出来れば、PR期間も十分とれるものと思われる。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容]  事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	三陸鉄道の利用者がますます低下し、最終的には三陸鉄道の廃止に追い込まれる。これまで以上に、魅力ある企画列車の実施をして、利用促進を図ることが重要である。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある  (具体的な手段、事務事業) 三陸鉄道の利用促進を図るための事業として、県と沿線市町村と三陸鉄道で構成する岩手県三陸鉄道強化促進協議会の活動 ☐ 統廃合・連携ができる [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない [理由]  各市町村が各々の特色を出した独自イベントを企画することで、より魅力あるものにつながる。 ☐ 他に手段がない [理由] 	
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由]  成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	現在支出している金額は、必要最小限であり、これ以上下げることはできない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由]  やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	現在の事務は、必要限度のものである。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由]  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	企画列車を実施するにあたり、参加者からは乗車運賃や各種経費等の参加を徴収している。

事務事業ID	0382	事務事業名	三陸鉄道利用促進事業
--------	------	-------	------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 毎月第3日曜日の三鉄利用促進デーを念頭に、様々な取り組みを実施する予定であったが、他イベントもあり実施できなかった。																						
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり												
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																						
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) <table border="1"> <tr> <td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☐ 現状維持</td></tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) 利用促進のための新たな企画列車を運行することや、利用につながる活動を実施する。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																		
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持																				
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																								
(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			●																				
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																								

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	商工観光物産課長
-------	----------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																								
記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																								
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由 事業の意図等が的確に把握されており、適切な評価となつている。																							
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>有効性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり												
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) <table border="1"> <tr> <td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☒ 現状維持</td></tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) 企画列車等の早期PR、利用者補助制度の周知に努める。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																		
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持																				
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																								
(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				

5 最終評価結果

(1) 政策推進会議等での指摘事項
